



令和5年度 西都市立茶臼原小学校便り

茶臼原小通信 12月号

文責 長友 裕之

進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成

進んで学ぶ子 心豊かな子 元気な子

佐藤雅彰先生を数年ぶりにお招きし研修会をしました。

12月1日(金)、佐藤雅彰先生(私は、勝手に師匠と呼ばせてもらっています)を、本校にお招きし、「子どもたちの学び」を見ていただきました。

佐藤先生は、山口昇校長先生がいらっしゃった時に初めて茶臼原小学校に来られました。その時は、保護者の皆様にも午後の講演会に参加された聞いております。

佐藤先生も数年ぶりの来校に感慨深いものを感じておられました。

佐藤先生は、日本はもとより、シンガポール、ベトナム、インドネシアにも招聘され、対話的な学びについて教授されています。ここ宮崎にこられる前は、沖縄県で小・中学校へ訪問されていました。

本校の子どもたちの学びを見ていただきました。どの子どもも素敵な表情で学習に取り組んでいるのが非常によいとお褒めの言葉をいただきました。分からない時は友だちを頼るといことがきちんとできていてしかも、頼られた方もきちんと丁寧に説明ができています。互恵的な学びができていると褒めていただきました。あとは、教師側が子供たちどうし聞き合える仕掛けをもっともっと作ることが大事と言われました。

先生方も、これまで子供たちがどんな姿であればよいか漠然としていたものが、今回の研修で理解ができました。私たちの時代の学校教育(皆、黒板に向かい、先生の話聞き、黙々とノートをとっている授業)では、これからの時代を生き抜くことは難しいということのようです。

日本で一番授業を観られている先生です。引き出しが多く、いろんな説明をやさしい言葉で説明していただきました。

今回の研修を受け、これを子どもたちに還元していきたいと思っております。



12月3日(日) 参観日ありがとうございました。

12月3日(日)は、日曜参観日に来ていただきありがとうございました。学校運営協議会と並行し、低学年・高学年にわかれて凧づくりを行いました。この凧づくりには、穂北づくり協議会の皆様を講師に迎え教えをいただきながら凧づくりをしました。来年1月6日(土)には、凧あげ大会を実施します。空高く舞い上がる凧が想像できます。

後半は、鑑賞教室ということで、宮崎アカデミックブラスアンサンブルという金管楽器のメンバーの演奏会を聞きました。日常の生活で、本物の金管楽器を見て、その音色をきくことがなかった子どもたちです。目がキラキラ輝いていました。クラシックから映画音楽まで幅広く演奏してもらいました。音楽大会で披露したパプリカ、そして、茶臼原小の校歌も演奏していただきました。子供たちは、歌い、踊り、そして拍手子の拍手隊となって、演奏会に参加しました。



12月の行事予定

- 1日(金) 佐藤雅彰先生来校
- 3日(日) 参観日・学校運営協議会
凧づくり・演奏会鑑賞
- 4日(月) 振替休日
- 7日(木) 村上三弦道鑑賞教室
- 15日(金) 長距離走大会
- 22日(金) 2学期終業式
- 28日(木) 仕事納め

アカデミックブラスアンサンブルについて

昭和60年に結成。トランペットの井手先生とその教え子で結成されました。年に1回の定期演奏会と今回のような訪問演奏をしています。香港、オランダ、台湾でも演奏をしてきました。定期演奏会では、日本で活躍しているプロの金管奏者を招いて、演奏を楽しんでいます。

演奏会はもとより、今回の訪問演奏が基盤となっています。目をキラキラさせて聞いてくれた子どもたちを見て、うちの団体の源はこれだったんだな~と思いながら楽器を吹いていました。